

## 地域住民による街区公園の指定管理者制度

### 1. 利用されなくなった公園・・・(はじめに)

生い茂った雑草の中に埋もれるように置かれた遊具やベンチ。地方部では、この写真のような雑草が生い茂り、管理が行き届かず、人気のない街区公園がよく見られます。

かつて、このような街区公園は、近隣に住む子供や親同士が交流する地域コミュニティの拠点として賑わっていましたが、少子化や利用規制等で子供たちの利用頻度が少なくなり、地域コミュニティの拠点として機能しなくなってしまいました。



利用されなくなった地方の街区公園状況



かつての公園の賑わい

## 2. なぜ賑わいがなくなったのか・・・(問題点)

- ・街区公園は近隣に住む人が利用することを主な目的としているのに、ほとんど利用されない公園が多く見られます。
- ・近年は、利用に制限がある公園が多く、ボール遊びや花火など子ども達がやりたい遊びができません。また、テレビゲームなど、他に楽しい遊びがたくさんあります。
- ・また、若い世代(20～30代)が魅力を感じる街区公園の機能が無く、この世代の利用者がほとんど見られません。
- ・行政側も街区公園に対し維持管理する費用が少なくなり、草刈りや施設の更新などがあまりできずに、さらに人が寄り付かなくなってしまいます。

### 【利用されない理由】

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 少子高齢化に対応した機能を備えていない。</li><li>・ 魅力的な機能を備えていない。</li><li>・ 利用制限が有るため利用しにくい。</li><li>・ 人気が無く公園自体に暗い雰囲気がある。</li></ul> |
|--|

### 3. こんな公園にしたい！（具体的提案）

#### 地域住民による街区公園の指定管理者制度

地方部における街区公園の管理者を周辺住民に指定することで、公園を自由に使えるようにしつつ、公園の管理も地域住民自ら行うようにします。

##### 【主な内容】

- ・公園の利用制限について住民同士で話し合い決定！（球技可、花火可等）
- ・住民自ら街区公園内のイベントを考え実施！（フリーマーケットの開催、ヨガ教室の開催、キッチンカーの誘致等）
- ・地域住民自ら清掃活動を行い、公園を維持管理！

##### 効果

##### ① 街区公園に活気が出る！

- ・若い世代が魅力的と感じる機能（昼はオープンカフェ、夜はBAR等）を備えることで、若い世代が自然と集まり公園に活気が出ます。
- ・子育て世代がオープンカフェでお茶をしながら子供を公園で遊ばせることができるため、子育て世代やその子供が公園に集まってきます。

##### ② 地域の新しい拠点を創出！

- ・公園内でイベントが開催されることで新しい地域のつながりができ、コミュニティを再形成します。
- ・公園内で開催されるイベントを通し、地域の高齢者と若い世代（20～30代）が交流することで、地域の行事等も受け継がれ地域全体に活気が出ます。

##### ③ 公園の維持管理体制を構築！

- ・街区公園内にキッチンカー等を誘致し場所を提供する代わりに多少の賃料を回収します。この収益を活用し、公園の維持管理や地域活動等で使用します。
- ・地域のコミュニティが確立されることで、自主的に公園をきれいにするようになり、維持管理が容易になります。

